

## 事業計画書

事業名	障がいのある人と地域が繋がる チャリティコンサート事業																															
場所	静岡県沼津市大手町 1-1-3 商連会館ビル6F NPO法人ティンクル内																															
実施予定期間	平成28年7月1日 ~ 平成28年10月8日																															
日程	実施項目・作業項目																															
	<p>簡易タイムスケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>実施項目</th> <th>配置人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>打ち合わせ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月19日</td> <td>打ち合わせ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月</td> <td>打ち合わせ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成28年7月</td> <td>打ち合わせ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成28年8月(仮)</td> <td>演奏者及びプログラム最終決定</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>チラシ作成配布(A)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>チケット販売開始(B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年10月7日(金)</td> <td>イベント準備及びリハーサル(C)</td> <td>30(見込)</td> </tr> <tr> <td>平成28年10月8日(土)</td> <td>イベント当日(D)</td> <td>36(見込)</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施項目</p> <p>(A)案内チラシ及びチケット作成配布は弊社運営障害者施設「プラザティンクル」の障害者が職業訓練の一環として実施します。</p> <p>(B)チケット販売は弊社社員及び共同実施する㈱ドリームエンターテイメントが行います。</p> <p>(C)イベント準備は施設内の飾りつけやレイアウト変更などの作業があり、障害者が従事します。</p> <p>(D)イベント運営に必要な下記の項目は職業訓練の一環として障害者が従事します※</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 来客対応</li> <li>2. チャリティの募集</li> <li>3. 受付事務</li> <li>4. イベント司会進行</li> <li>5. イベント内プログラムの準備及び合唱プログラム参加</li> <li>6. 閉会後の清掃活動</li> </ol>		日時	実施項目	配置人員	平成28年4月1日	打ち合わせ	2	平成28年5月19日	打ち合わせ	2	平成28年6月	打ち合わせ	2	平成28年7月	打ち合わせ	2	平成28年8月(仮)	演奏者及びプログラム最終決定	2		チラシ作成配布(A)			チケット販売開始(B)		平成28年10月7日(金)	イベント準備及びリハーサル(C)	30(見込)	平成28年10月8日(土)	イベント当日(D)	36(見込)
日時	実施項目	配置人員																														
平成28年4月1日	打ち合わせ	2																														
平成28年5月19日	打ち合わせ	2																														
平成28年6月	打ち合わせ	2																														
平成28年7月	打ち合わせ	2																														
平成28年8月(仮)	演奏者及びプログラム最終決定	2																														
	チラシ作成配布(A)																															
	チケット販売開始(B)																															
平成28年10月7日(金)	イベント準備及びリハーサル(C)	30(見込)																														
平成28年10月8日(土)	イベント当日(D)	36(見込)																														
事業効果	<p>見込まれる効果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>障害者への提供可能価値<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>イベント運営に関わることで、下記4点の提供を図ります</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 面識のない顧客とのコミュニケーションを図る機会(業務上必要な接遇練習として)</li> <li>2. 受付業務や金銭管理などの事務手続きを体験する(今後に向けた職域の開拓)</li> <li>3. 集客に応じて自らの収入(工賃)の変化を体感することで発生する仕事に対するモチベーション</li> <li>4. イベントの運營業務に携わることで、仕事のキャッシュフローを体験する機会</li> <li>5. チャリティの対象者ではなく、提供者という立ち位置のイベントを実施するという事実を通じた各々の職業意識(プライド)を育む機会</li> </ol> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域住民及び参加者に対して<input checked="" type="checkbox"/></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域に障害者施設があることの周知を図る</li> <li>2. 日頃接点を持つ機会が少ない可能性がある「障害者」の知る機会及び考えるきっかけを提供する</li> </ol> <p><input checked="" type="checkbox"/>沼津に対して<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>地域と障害者施設の連携強化を図ることを通じて、偏見差別等が緩和されていくことで、ソフト面ハード面双方に障害者も誰もが暮らしやすい「共生社会」の実現に進んでいくことが推測される。</p> <p>また、当イベント内で貴ファンド周知を行う事で沼津市民の「こんなまちにしたい」がより地域に出ていく事が推測され沼津市民の主体的な「まちづくり」が行われる土壌が出来ていく事が推測される。</p>																															

<p>公益性</p>	<p>障害者の仕事として実施することで  ①働く機会の増加②得られる報酬の増加 が推測されます。  また、職業訓練の一環として実施することで  職域の開拓や仕事に対するモチベーションを高める効果が推測されます。  また、障害者施設と地域の連携を強化していく狙いで当事業は実施します。  実際にイベントに来て下さる顧客に対し後日お礼のアプローチをとることで関係性を構築し、地域の障害者との関係性を強化します。  また、弊社は様々な事柄を仕事に出来る特質を持つ為新たに障害者の仕事も地域連携強化プロセスの中で創造していくことが可能となります。  一人でも多くの方が障害者について知る機会及び考える機会を得る事で地域福祉力は向上していくと推測されます。</p>
<p>発展性</p>	<p>イベントは継続することが可能なビジネスモデルであり、継続していくことで障害者の職業能力の向上につなげる事が可能です。  今回はチャリティ色のある事業として実施しますが、集客数等は増加していくにつれて提供コンテンツの充実も図れますのでチャリティというジャンルに拘らないとしても事業の発展性は高いものと推測されます。  集客が確認できれば、助成金以外にも協賛金などによる運営も可能となります。</p>
<p>地域性</p>	<p>弊社事業所近隣は、住宅街はもちろんのこと教育機関も多数存在し学校関係者を招待することで今後若年層に向けた障害者啓発事業を効率的に行える環境があります。  また、周辺には企業も多い為ビジネスマンに対しての投げかけを行う事で企業と障害者をマッチングすることが出来るものと推測されます。  障害のある人の「働く」を今後生み出していくには適した環境であると判断しています。</p>
<p>必要性</p>	<p>弊社が運営している障害者施設は全国で18万人が使う「就労継続支援B型事業所」と呼ばれています。その事業所に通う障害者の給料(工賃)平均月額額は14,000円前後と経済自立には遠く及ばない数字が存在します。  弊社はこの数字を変えていきたいと思い活動しています。  よって弊社はこの事業を障害者の仕事として実施いたします。  また、仕事を通じて地域との関係性を構築することで「フラット」な目線で障害者と地域が付き合える環境を創っていきます。  その積み重ねが障害者の啓発につながり差別や偏見を少しずつでも削っていくと弊社は信じています。</p>
<p>先導性</p>	<p>「障害者×チャリティイベント」となると恐らく障害のある人がチャリティを受け取る側のイメージを抱く方が多いかと思えます。  確かに私共障害者福祉業界は好意や寄付などを頂く機会の多い業界かと思えますが、当事業は「障害のある人も、そうでない人もフラットな関係性を創造すること」を目的に行う事業になります。よって今までのイメージを転換させる様に「障害のある人がチャリティ活動を行う構図」を前提に事業立案します。  少なくとも静岡東部では私共は類似する活動を聞いたことがありません。</p>
<p>継続性</p>	<p>発展性の項目内でも記載済みですが、集客数等は増加していくにつれて提供コンテンツの充実も図れますのでチャリティというジャンルに拘らないとしても事業の発展性は高いものと推測されます。  初回のマーケットは地域住民及び教育機関が主となるかと思えますが回を重ねるにつれてマーケットを変更することが可能です。  マーケットの推移 例)  初回：地域住民/教育機関職員 次回：学生/学生の親御様 次々回：企業関係者  この様に広げていくことで、日ごろ接点の少ない「障害者」を考える機会を地域に広く提供していくことが可能かと判断します。</p>